

# 「バリアフリー」や

# 「ユニバーサルデザイン」を知ろう！！

## ★★身近にある街の中の工夫★★

皆さんは『点字ブロック』を知っていますか？点字ブロックは地面（路面や床面など）にある、黄色い凸凹のある四角いブロックです。町の中や、駅などで見かけます。

目の不自由な人は、点字ブロックを足の裏や、白い杖などを使って感じとり、それをたよりに歩いています。点字ブロックには2種類あります。

## クイズだよ。わかるかな？

1

この線のブロックは、どういう意味があるでしょう？



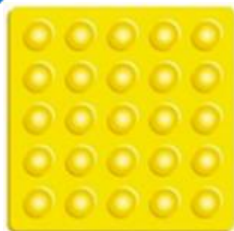
- ①進む方向
- ②注意する場所

1

線の向きで進む方向が分かります  
→答えは①だよ！！

2

この点のブロックは、どういう意味があるでしょう？

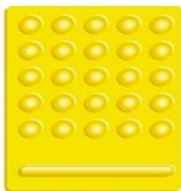


- ①進む方向
- ②注意する場所

2

「ここから注意が必要です」  
という意味です  
→答えは②だよ！！

### オマケ



▲線路側

▼ホーム側

このブロックを駅のホームで見たことはありますか？  
点と線が両方あるブロックで、線路側とホーム側がわかるようになっています。

いろいろな種類の  
点字ブロックがあるね

点字ブロックは、1965年頃に、日本で生まれたと言われています。今は世界中(75か国くらい)に広がっている、素晴らしい仕組みです。こんな素晴らしい仕組みが、ちゃんと役立つためには、目の不自由な人の周りにはいる私たちのマナーがとても大切です。

たとえば、町の中で、点字ブロックの上に、自転車や荷物などがあるのを見たことはありませんか？

点字ブロックの上で遊んだり、立ち話をしたりしていませんか？

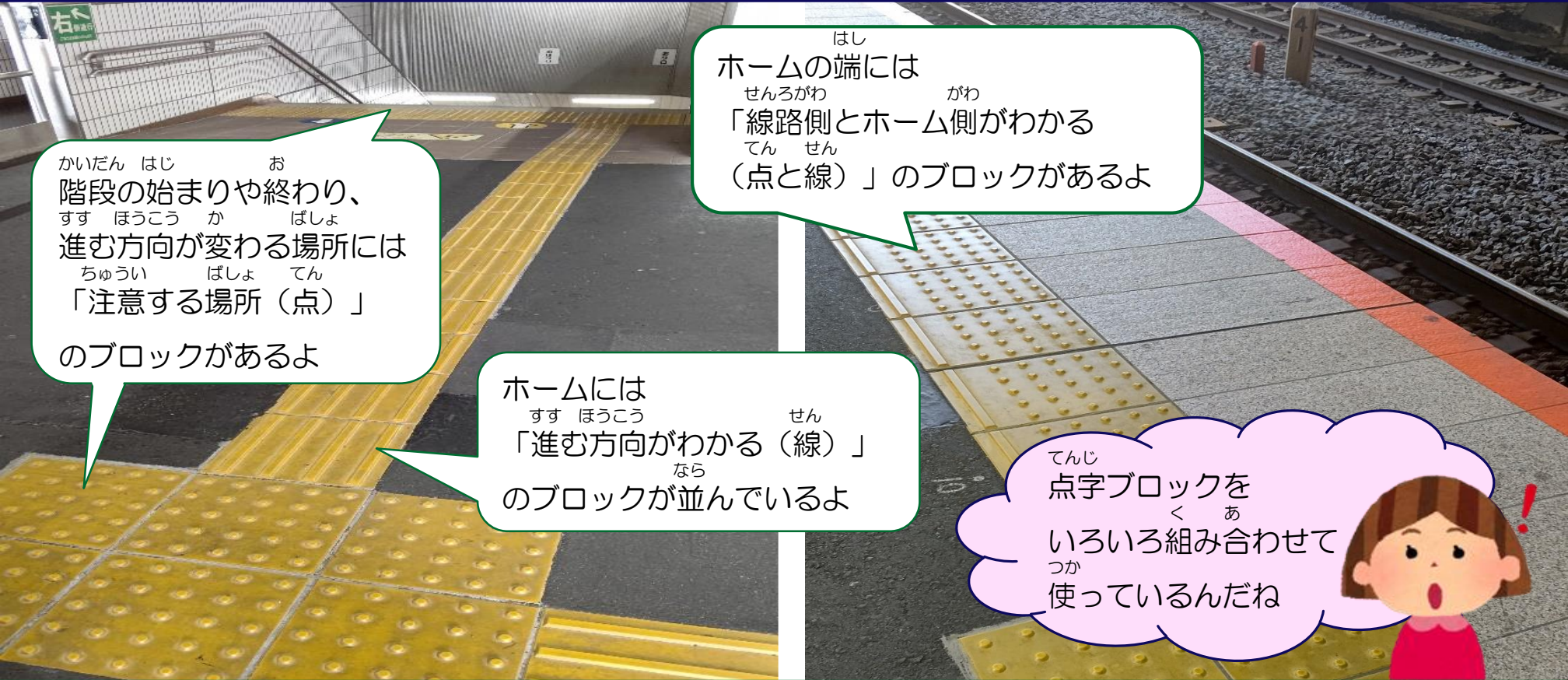
点字ブロックの上に物があったり、人がいると、目の不自由な人が、物や人にぶつかって転んだり、進む方向がわからなくなったりして、とても危険です。

目の不自由な人も安心して町を歩けるように、みんなで気をつけましょう。





えき じっさい つか てんじ み  
 駅で実際に使われている点字ブロックを見てみよう



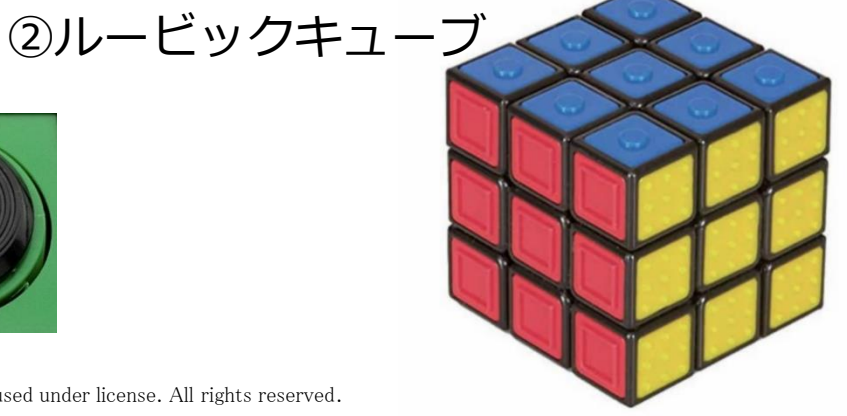
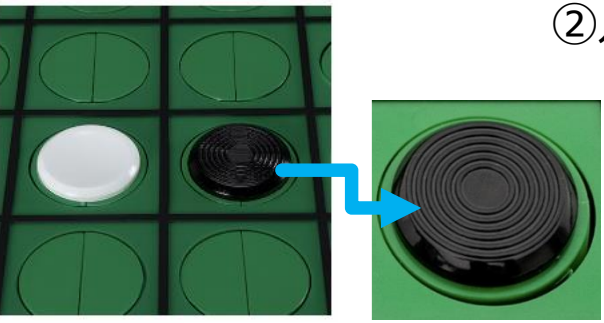
かいだん はし お  
 階段の始まりや終わり、  
 すす ほうこう か ばしょ  
 進む方向が変わる場所には  
 ちゅうい ばしょ てん  
 「注意する場所（点）」  
 のブロックがあるよ

はし  
 ホームの端には  
 せんろがわ がわ  
 「線路側とホーム側がわかる  
 てん せん  
 （点と線）」のブロックがあるよ

ホームには  
 すす ほうこう せん  
 「進む方向がわかる（線）」  
 なら  
 のブロックが並んでいるよ

てんじ  
 点字ブロックを  
 く あ  
 いろいろ組み合わせて  
 つか  
 使っているんだね

あそ  
 ★★みんなで遊べるユニバーサルデザイン★★



TM&©Othello, Co. and Mega House  
 RUBIK'S TM & © 2021 Spin Master Toys UK Limited, used under license. All rights reserved.

め ふじゅう とも いっしょ たの あそ と い  
 目が不自由なお友だちも、一緒に楽しく遊べるように「ユニバーサルデザイン」を取り入れたおもちゃもあります。

①のオセロゲームは、それぞれのマスに石が入っています。ボードの丸いふちを押すと、石が回転します。黒の面にはギザギザした印があり、白い面にはへこみがあります。さわると石の色のちがいがわかる仕組みです。石と台が一体型のため、石がずれたり、なくなる心配もありません。

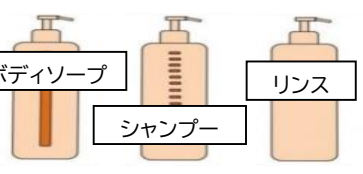
②のルービックキューブは、白以外の5つの面に、形の違う凸凹がついている立体パズルです。色を見ながらそろえるだけでなく、さわった感じでそろえることもできるようになっています。

これらのおもちゃは、町のおもちゃ屋さんで、ほかのおもちゃと同じように売られています。

しょう ひと せいかつ うえ  
 バリアフリー  
 障がいのある人が生活していく上で  
 バリアとなるものをなくしていくこと



ユニバーサルデザイン  
 おお ひと つか  
 できるだけ多くの人が使いやすい  
 かんが  
 ように考えられたデザイン



じぶん まわ さが  
 みんなも自分の周りの「バリアフリー」や、「ユニバーサルデザイン」を探してみようね！

